

# 生活単元学習指導案（略案）

平成 31 年 2 月 1 日 金曜日 2 校時 (9:40~10:30)  
 高等部 1 年 男子 5 人 女子 3 人 計 8 人  
 場 所 高等部 1 年 教室  
 指導者 篠原麻葉 (CT), 中村寛治 (ST)

## 1 単元 「やってみよう社会人の生活～家計とマナー～」

### 2 本時の実際 (14/15)

#### (1) 全体目標

レシートや明細書の内容を読み取る活動を通して、生活に必要な支出を調べることができる。【家庭】

#### (2) 個人目標

生徒	個人目標
S. T (1年, 男)	1か月分のレシートや明細書を費目別に分類したり, 合計を出したりすることを通して, 1か月の支出の傾向を調べることができる。
S. R (1年, 男)	レシートや明細書に示された品名とイラストを対応させ, イラストをグループ別に分類することを通して, 支出の費目に対応したイラストを選択することができる。
H. R (1年, 男)	レシートや明細書の内容から品名を書き出し, 費目のイラストを手掛かりに分類することを通して, 費目と品名を対応させることができる。
F. S (1年, 男)	1か月分のレシートや明細書の金額の合計を出すことを通して, 1か月の支出を調べることができる。
Y. S (1年, 男)	レシートや明細書から品名を書き出すことを通して, 支出の費目に対応したイラストを選択することができる。
J. W (1年, 女)	レシートや明細書の内訳から品名等を簡略に書き出し, 分かりやすく表に整理することを通して, 支出の費目や具体的な内容について調べることができる。
T. E (1年, 女)	レシートや明細書の内訳から品名等の内容を書き出し, グループ別に分類する活動を通して, 支出の費目や具体的な内容について調べることができる。
N. A (1年, 女)	レシートや明細書の内容から品名を書き出し, グループ別に分類することを通して, 費目と品名を対応させることができる。

#### (3) 指導及び支援に当たって

##### <これまでの学習の様子と本時の学習活動の概要>

生徒たちは前時まで、具体的な生活空間を想起しながら生活に必要な物の値段や水道・ガス・電気の役割を知ることで、生活には費用が掛かっていることや生活に掛かる費用が区別されていることを知ったり、費用が掛かる行為と物を結び付けたりすることができつつある。そこで本時では、レシートや明細書などから必要な情報を読み取って整理したり、費用が掛かる行為と物に対応させたりして、社会人の生活に必要な支出について知り、今の生活との違いや社会人としてのお金の使い方について気付くことができるようにする。

##### <導入>

前時まで学習したことをワークシート等で振り返ることで、学習した内容や学習の目的を確認することができるようにする。㊦ ㊧

##### <展開>

- ・ S. R, H. R, Y. S, N. Aについては、支出の費目を分類することができるように、「調理する」等の目的を表す行為のイラストを見て、「ガス」等の具体的な物や費目を表すイラストや文字カードに注目することができるようにする。㊦ ㊧
- ・ J. W, T. Eについては、支出の費目や具体的な内容を調べることができるように、注目する箇所を友達と確認し合うことでレシートや明細書から必要な情報を書き出して整理することができるようにする。㊦ ㊧ ㊨
- ・ S. T, F. Sについては、1か月分の支出の傾向を調べることができるように、費目ごとの金額に注目したり、総額ごとに順位を付けて気付いたことを友達と伝え合ったりする活動を設定する。㊧ ㊨

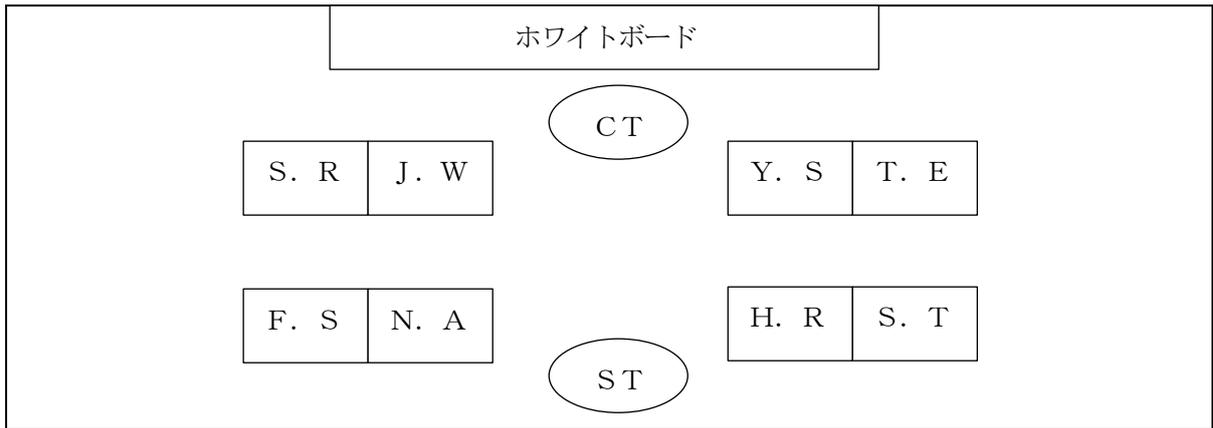
##### <終末>

生活に必要な支出を確認することができるように、本時で整理してまとめた生活費の内訳表を全員で共有したり、次時で扱う今の生活の小遣い帳と、社会人一年目やグループホームの生活費の内訳を見比べたりする活動を設定する。㊧ ㊧

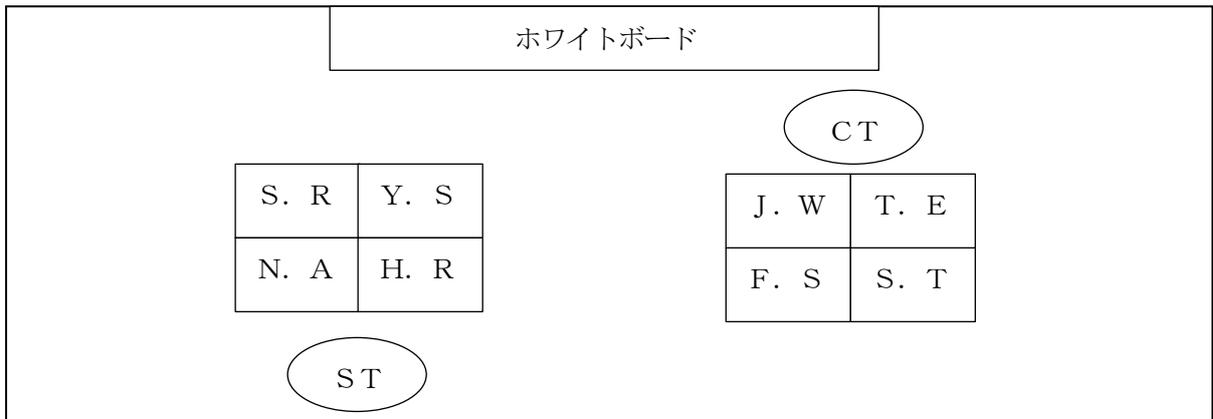
## (4) 実際

過程	主な学習活動	指導及び支援に当たって	資料・準備
導入 (10分)	1 始めの挨拶をする。 2 前時までの学習を振り返る。 3 本時の学習を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             生活するために何にお金が掛かっているのか考えよう。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの学習で使用したトイレやキッチンなどの写真やイラスト、家計簿の一例を提示して、これまで学習したことと結び付けながら話をすることで、設定されたA家の生活について知ることができるようにする。</li> <li>・ 生活費の内訳表を提示し、これまで学習した費目名やイラストを確認することで、本時の学習活動に見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> </ul>
展開 (35分)	4 A家の一週間分の生活費の内訳を整理してまとめる。 <b>【S. R, H. R, Y. S, N. A】</b> (1) レシートや明細書を見る。 (2) 品物のイラストを選ぶ。 (3) 品物のイラストと費目を表すイラストを対応させる。  <b>【S. T, F. S】</b> (1) レシートや明細書を見る。 (2) 費目ごとに色ペンでラインを引く。 (3) 費目ごとに小計を算出する。 (4) 費用が掛かっている順に並べて、傾向を話合う。  <b>【J. W, T. E】</b> (1) レシートや明細書を見る。 (2) 品物を書き出す。 (3) 費目を考える。  5 生活における生活費の内訳表を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分からレシートや明細書の内容を読み取ることができるよう、イラストや文字が提示されたレシートや明細書を使用する。</li> <li>・ 費目に関するイラストを選択することが難しい際には、ST が行為を表すイラストの中に示された費目を表すイラストを指差したり、行為や物を表す言葉と一致させながらそれぞれのイラストを提示したりすることで、費目を表すイラストを選択することができるようにする。</li> <li>・ 費目と品物を自分たちで判断して分類することができるように、日用品や食品が一枚に提示されたレシートを使用する。</li> <li>・ 費目ごとの総額についての傾向に気付くことや友達と伝え合うことが難しい場合は、CT が言葉掛けをしたり、注目する箇所を示したりする。</li> <li>・ 友達と確認しながら、レシートや明細書に示された情報の中から必要な箇所に注目して印を付けたり、品名を書き出したりすることで、どこを見れば情報を読み取れるのか自分から気付いたり、費目名を考えたりすることができるようにする。</li> <li>・ 簡略して情報を書き出すことができるように、示された品名のどこを書き出せばいいのかを友達と確認する活動を設定する。</li> <li>・ S. R, Y. Sについては、S. T, H. R, F. S, J. W, T. E, N. Aが発表した費目や費目の具体的な内容を聞いたり、イラストを見たりすることで、対応したイラストを選択し発表することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レシート</li> <li>・ 明細書</li> <li>・ イラストカード</li> <li>・ 文字カード</li> <li>・ 生活費の内訳表</li> </ul>
終末 (5分)	6 本時の学習を振り返り、次時の学習を知る。  7 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習で扱った生活費を分類した内訳表を見たり、社会人としてのお金の使い道について気付いたことを発表したりして、本時の学習を振り返ることができるようにする。</li> <li>・ 次時の学習に見通しをもつことができるように、社会人のいろいろな暮らしについての家計簿を提示する。</li> </ul>	

(5) 場の設定  
【導入・終末】



【展開】



(6) 評価

ア 全体目標

レシートや明細書の内容を読み取る活動を通して、生活に必要な支出を調べることができたか。【家庭】

イ 個人目標

生徒	個人目標
S. T (1年, 男)	1か月分のレシートや明細書を費目別に分類したり、合計を出したりすることを通して、1か月の支出の傾向を調べることができたか。
S. R (1年, 男)	レシートや明細書に示された品名とイラストを対応させ、イラストをグループ別に分類することを通して、支出の費目に対応したイラストを選択することができたか。
H. R (1年, 男)	レシートや明細書の内容から品名を書き出し、費目のイラストを手掛かりに分類することを通して、費目と品名を対応させることができたか。
F. S (1年, 男)	1か月分のレシートや明細書の金額の合計を出すことを通して、1か月の支出を調べることができたか。
Y. S (1年, 男)	レシートや明細書から品名を書き出すことを通して、支出の費目に対応したイラストを選択することができたか。
J. W (1年, 女)	レシートや明細書の内訳から品名等を簡略に書き出し、分かりやすく表に整理することを通して、支出の費目や具体的な内容について調べることができたか。
T. E (1年, 女)	レシートや明細書の内訳から品名等の内容を書き出し、グループ別に分類する活動を通して、支出の費目や具体的な内容について調べることができたか。
N. A (1年, 女)	レシートや明細書の内容から品名を書き出し、グループ別に分類することを通して、費目と品名を対応させることができたか。

授業計画シート (各教科等を合わせた指導 ver.4)

学部	教科等名	学習集団 (グループ名等)	単元・題材名	総時数 (実施時期)
小・中・高	生業 作業	高等部 1年生	やってみよう！社会人の生活 ～家計とマネー～	15 時間 (1月～2月)

児童生徒名	個人目標
S. T (1年, 男)	ア 今の自分の生活と社会人の生活の違いに気づく活動を通して、自分の課題を認識したり、マネーを守る理由を相手の立場に立って考えてなり、マネーに気づいた行動をとることができる。 イ 今の自分の生活と比較しながら社会人の暮らしについて調べてみる活動を通して、生活する上で必要な支出のおおまかな価格や内訳を知ったり、金融機関の仕組みを調べることができる。
S. R (1年, 男)	ア 写真や動画などを使って今の自分の生活と社会人の暮らしについて経験する活動を通して、生活する上で必要な支出を分類して区別することができ、対応した行動をとることができる。 イ 動画や写真、具体物を手掛かりにして社会人の暮らしについてマネーに気づく活動を通して、マネーに気づいた行動をとることができる。
H. R (1年, 男)	ア 写真や動画などを使って今の自分の生活と社会人の暮らしについて調べてみる活動を通して、生活する上で必要な支出のおおまかな価格や内訳、動画や写真、具体物を手掛かりにして社会人の暮らしについて経験する活動を通して、生活する上で必要な支出について目的を考えたうえで区別することができる。
F. S (1年, 男)	ア 今の自分の生活と社会人の生活の違いに気づく活動を通して、自分の課題を認識し改善点を具体的に考えながら、マネーに気づいた行動をとることができる。 イ 今の自分の生活と比較しながら社会人の暮らしについて調べてみる活動を通して、生活する上で必要な支出の内訳や割合を考えたり、金融機関の正しい利用方法を知ったりすることができる。

単元・題材の全体目標	教科等
ア 今の自分の生活と社会人の生活を比較する活動を通して、社会人としてのマネーについて知り、適切に対応することができる。 イ 社会人の暮らしについて調べたり、経験したりする活動を通して、生活する上で必要な支出の内訳を知ったり、金融機関の働きや利用についてわかる。	国 (社) 算 (理)・音 (楽) 図 (美)・体 (保)・生 (科) 国 (社) 算 (理)・音 (楽) 図 (美)・体 (保)・生 (科)

児童生徒名	個人目標
Y. S (1年, 男)	ア 写真や動画などを使って今の自分の生活と社会人の暮らしについて調べてみる活動を通して、自分の課題を認識したり、マネーを守る理由を相手の立場に立って考えてなり、マネーに気づいた行動をとることができる。 イ 動画や写真、具体物を手掛かりにして社会人の暮らしについてマネーに気づく活動を通して、マネーに気づいた行動をとることができる。
J. W (1年, 女)	ア 今の自分の生活と社会人の生活の違いに気づくことで、マネーを守る理由を考えながら社会人としてのマネーについて知り、マネーに気づいた行動をとることができる。 イ 今の自分の生活と比較しながら社会人の暮らしについて調べてみる活動を通して、生活する上で必要な支出のおおまかな価格や内訳、動画や写真、具体物を手掛かりにして社会人の暮らしについて経験する活動を通して、生活する上で必要な支出について目的を考えたうえで区別することができる。
T. E (1年, 女)	ア 今の自分の生活と社会人の生活の違いに気づくことで、マネーを守る理由を考えながら社会人としてのマネーについて知り、マネーに気づいた行動をとることができる。 イ 今の自分の生活と比較しながら社会人の暮らしについて調べてみる活動を通して、生活する上で必要な支出のおおまかな価格や内訳、動画や写真、具体物を手掛かりにして社会人の暮らしについて経験する活動を通して、生活する上で必要な支出について目的を考えたうえで区別することができる。
N. A (1年, 女)	ア 今の自分の生活と社会人の生活の違いに気づく活動を通して、自分の課題を認識し改善点を具体的に考えながら、マネーに気づいた行動をとることができる。 イ 今の自分の生活と比較しながら社会人の暮らしについて調べてみる活動を通して、生活する上で必要な支出の内訳や割合を考えたり、金融機関の正しい利用方法を知ったりすることができる。

学習指導要領との対応 (各教科等の内容)	指導計画	次	時数	学習活動	「本校の児童生徒に育てたい資質・能力」を育てるための工夫
【社会科】 (3)：公民権 公民権や公民権などの権利について理解を深め、それらを適切に利用する。  【数学科】 (4)：数値 生活に必要な金額や時計・暦などを工夫して使う。(1・2)  【家庭科】 (1)：家族役割 家族役割や家族の役割を理解し、楽しい家庭づくりのために積極的に役割を果たす。(1・2) (2)：消費と余暇 家庭生活における計画的な消費や余暇の有効な過ごし方について理解を深める。(1・2) (3)：道具・器具等の取扱いや安全・衛生 家庭生活で使用する道具や器具を効率的に使用し、安全や衛生に気を付けながら実習をする。(1・2)	できるよ！になっってほしいこと (案)	1	1	1 社会人としての生活について考える。 (1) 卒業後の自分たちの生活について考える。 (2) 今の自分の生活と社会人の生活を比較する。 (3) 社会人について話し合う。 (4) 社会人として生活する上でマネーやお金の使い方を学習する必要性を考える。  2 マネーについて考える。 (1) 今までの自分の生活について振り返る。 (2) 場面別にロールプレイを行う。 (3) 場面別にマネーについて調べ、まとめる。 (4) 調べたマネーを生かして、場面別にロールプレイを行う。  3 社会人としてのお金の使い方を考える。 (1) 社会人には種類があることを知り、何ほどのくらい金額かを調べる。 (2) 生活に必要な物について話し合う。 (3) 電気・ガス・水道の役割について知り、まとめる。 (4) 生活に必要な支出の分類について知り、まとめる。 (5) 生活における支出の支払い方法や収入について知る。 (6) 金融機関の利用、貯蓄について調べ、まとめる。 (7) 様々な社会人の生活を通して生活に必要な費用を整理し、今の生活との違いをまとめる。	・ 卒業した先輩と今の自分たちの生活を比較したり、後期現場実習での様子や普段の学校生活や家庭での課題を振り返り、社会人としての生活や社会人として身に付けなければならないことに気づくことができるようにする。 ・ 具体例を示しながら、社会人としてマネーを守って行動すること、生活するお金をどこからもちょうどのように使うかを考えながら生活することの必要性を考慮できるようにする。 ・ 訪問や簡単なビジネスマネーなど、場面別にロールプレイを行い、自分や友達の様子を見て気づくことができるようにする。 ・ 自分や友達の良かった点や改善点を気づくことができるようにする。 ・ 今の自分の姿とマネーを守っている社会人の姿を比較して違いに気づくことで、どのように行動すればいいのか、適切なマネーについて知るようになる。
			9 本時 (8/9)	1 レシートや明細書から必要な情報を読み取り、同じ項目の合計金額を算出すること。 イ レシートや明細書、ちらしや雑誌などから、金額を表す記号やマークなどの表示を見付けること。(S. R, H. R, Y. S, N. A) イ どのようときに金融機関を利用するのかや利用の簡単な手続き、利用の際の準備物を調べて、まとめること。(S. T, F. S, J. W, T. E) イ イラストを手掛かりにして、金融機関のおおまかな特徴を区別したり、利用の際に必要な物を選んだりすること。(S. R, H. R, Y. S, N. A) イ 様々な社会人の生活を通して家計簿やレシート、明細書を見て、項目ごとに分類し、今の生活との違いに気づくこと。(S. T, F. S, J. W, T. E)	・ 自分たちが生活している空間から金額を払って使用している物やレシートについて探し、ちらしや雑誌にお店に行くと金額を調べてきたクーポンなどを手掛かりにすることで、日用品や衣服などの金額を調べることができるようにする。 ・ 新生活の準備を想定して、生活に必要な物について話し合うことで、電気・ガス・水道の役割や生活に掛かる費用を大まかに知ることができるようになる。 ・ 絵料の受け取り方や光熱費の支払い方を知ったり、金融機関を利用する場面や利用の際に必要な準備物を調べたりすることで、金融機関の利用について知るようになる。 ・ レシートや明細書を見て買った物や使われていることをまとめて費目ごとに分類することで、生活に必要な支出の内訳について知るようになる。 ・ グループホームや社会人1年目など、様々な社会人の生活を想定した家計簿やレシート、明細書を見て生活に必要な項目を比較しながら話し合うことで、生活の違いに気づいたり、社会人と今の生活の違いをまとめることができるようになる。

実施時期	実施時期や時数に関する評価	必要と思われる時数
適当 ( )	必要と思われる時数 ( )	必要と思われる時数 ( )
○実施時期 適当 ( )	○実施時期や時数に関する評価 ※単行・題材終了後に書き	○必要と思われる時数 適当 ( )

各教科等との関連
○生単「社会見学に行こう。みんなでお泊ろう」 「みんなでお掛けよう」 ○数学「暗算や算盤を活用してスケジュールを立てよう」

総合的な学習の時間「働くこと・いろいろな生活について考えよう」
○総合的な学習の時間「働くこと・いろいろな生活について考えよう」